

広範な関係者の参加による魅力的な国立公園づくり推進事業

41百万円(18百万円)

自然環境局国立公園課

1. 事業の概要

近年の環境保全に関する社会全体の関心や意識の高まりに伴い、国立公園に求められる役割・期待も多岐に渡ってきている。そのため、国、地元自治体、NPO及び民間企業等の広範な関係者が円滑に協働できる体制を構築し、国立公園を軸にした地域連携により、自然と人間活動とが持続可能な形で発展する質の高い公園管理を進めていく。

(1) 国立公園における戦略的運営の推進

公園の管理を担う多様な関係者が円滑に参加・協働し、国立公園毎に目指すべき目標やその目標を実現するための計画を策定するとともに、役割分担を明確にした公園管理の仕組み・体制を構築することにより、魅力ある国立公園づくりを推進する。

20年度より、参加型モニタリングによる順応的管理、二次林等の能動的管理等のモデル事業及び科学的データ整備、評価システムの検討を行う。

(2) 民間活動推進モデル事業

自然公園法に基づく「公園管理団体」及び「風景地保護協定」の新たな指定及び締結及び既指定団体における課題の解決のための支援。

2. 事業計画

事業内容	H18	H19	H20	H21
(1)国立公園における戦略的運営の推進				
戦略的運営の推進				
順応的管理、能動的管理、科学的データ整備 等				
(2)民間活動推進モデル事業				

3. 施策の効果

国、地方公共団体、地域住民、民間企業、NGO等の公園の管理を担う関係者が円滑に参加・協働し、質の高い公園管理を実現。

国立公園の科学的データに基づいた順応的管理、適正管理を行うことにより魅力ある国立公園の実現。

4. 備考

職員旅費(事前打ち合わせ、協議会出席等)	588千円
調査費	40,755千円
(内訳) 国立公園の新たな運営戦略の検討	20,568千円
国立公園の参加型モニタリング	8,172千円
二次林等の能動的管理	7,491千円
科学的データ整備等の検討	1,884千円
民間活動推進モデル事業	2,640千円

国立公園における参加型管理運営の推進

国立公園の管理運営に関する課題

- (1) 目標(ビジョン)の明確化
- (2) 地域の新たな管理運営体制の構築
- (3) 合意形成の仕組みづくり
- (4) 適切な情報提供の推進等
- (5) 科学的なデータ整備の推進

地域性自然公園制度においては、国、地方公共団体、地域住民、民間企業、NGO、土地所有者、利用者等の多様な主体の連携が必要

